

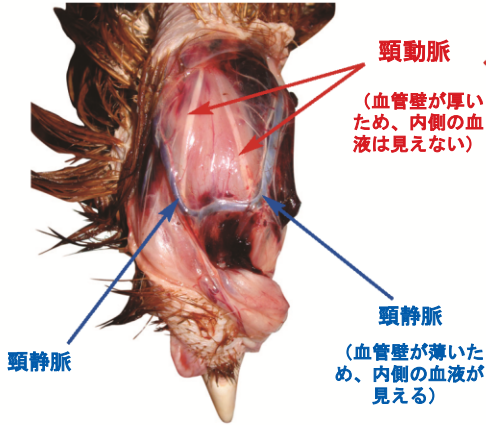
家禽の効果的な首の切断



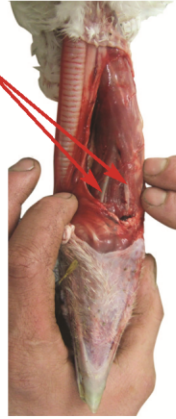
人道的屠畜協会
(Humane Slaughter Association, HSA)

血管の特定

鶏



七面鳥



頸静脈は皮膚のすぐ下にあるため特定が容易です。

頸動脈は頸筋の内側にあり、酸素を豊富に含んだ血液を脳に送り込むため、**最も重要な切断すべき血管**です。

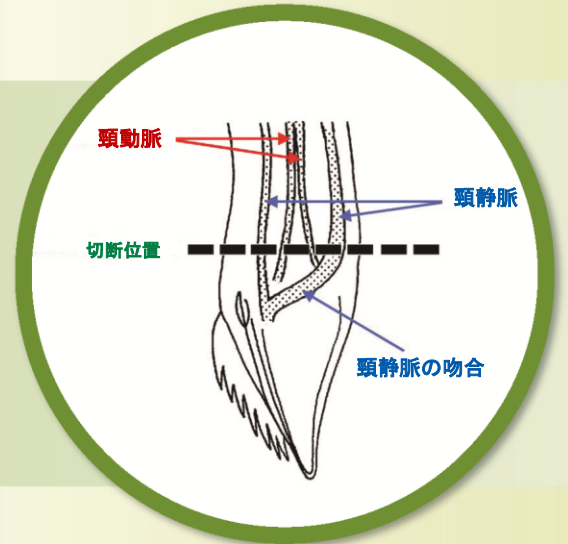
鶏、ガチョウ、ホロホロチョウの場合は、頸動脈は頭近くの頸筋の表面によく見られます。

七面鳥および家の場合、動脈は筋肉表面の下に隠れているため、これを見えるようにするには筋肉を解剖する必要があります。

この種の鳥類は首の切断はされませんが、完全な血管を出すため解剖されています。

適用法

顎骨のすぐ下、喉の前面と両側にわたるよう、頸筋に水平に深く切り込みを入れることは、前面首切断[ventral neck cut(VNC)の仮称]と呼ばれ、あらゆる種において**両総頸動脈**と**両外頸静脈**を切断する上で信頼できる方法です。VNCでは鳥類の出血が素早く行われるため、鳥のためにも、また肉の品質の上でもメリットがあります。



評価



✓ 効果的な切断の兆し

切断後直ちに、約5秒から10秒間、逆さまのVの形にて高圧下で2つの細い血の「ジェット」が吹き出します。これは**両総頸動脈**が切断されたことによります。

- ▶ 少なくとも2分25秒から3分の間、出血させます。
- ▶ 鳥が意識のない状態であり続けることを定期的にチェックします。
- ▶ 死亡（角膜反射やリズムカルな呼吸がない状態が続くこと）を確認してから、次の処置を開始します。

✗ 効果的でない切断の兆し

切断後ゆっくりと、垂れるように出血することは、小型の種（ウズラなど）でも、静脈は切断されたものの動脈がそのままであることを示す場合があります。すぐに再び首を切り、十分な血が流れ出すようにするか、首を切り落とします。

注意：状態によっては鳥の血圧が低下する場合があります（例えば遅い脈拍、心拍停止、首の脱臼、スピング法は頭の中の血管を損傷させることがあります）。このため両方の動脈が切断されている場合にも血流の「ジェット」が見られないことがあります。